



大船渡水産振興センター「復興板」

平成29年12月27日発行 第60号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成29年11月30日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、69.8%となっています。（平成29年11月30日現在）

	災害査定 (H28再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁 港	243	35,125,599	238	32,434,726	31,907,832	91	221
漁港海岸	11	35,443,968	11	23,348,632	17,165,904	48	3
漁 場	2	498,880	2	498,880	498,880	100	2
合 計	256	71,068,447	251	56,282,238	49,572,616	70	226

・ さっちゃんNEWS part1

12月14日、農林水産祭における綾里漁協青壮年部の内閣総理大臣賞受賞の祝賀会がありました（主催：綾里漁協）。同賞は3月に開催された全国青年・女性漁業者交流大会において、直接販売や消費者との交流を通して『綾里ファン』を獲得してきた同青壮年部の活動発表が高く評価されたものです。祝賀会では、祝いの権現舞や大漁唄い込み等が披露され、参加者一同、同賞の受賞を喜び大いに盛り上りました。



佐々木組合長から受賞の挨拶



大平青壮年部長の喜びの挨拶



お祝いを述べる大船渡水産振興センター山口所



受賞者による大漁唄い込み



★★★_スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を（県外、世界に）届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の間を盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、

2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



(1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

事業年度	施設名	事業主体
平成29年度	作業保管施設 作業保管施設	綾里漁業協同組合 広田湾漁業協同組合

(2) 大船渡魚市場の水揚げ状況 (平成29年1月から11月末累計)

出典：いわて大漁ナビ

平成29年 (震災後)		平成28年 (震災後)		平成20年から平成22年の平均 (震災前)		前年比 (H29/H28)		震災前平均との対比	
数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
27,518	5,607,530	30,973	4,790,147	52,634	5,789,256	88.8	117.1	52.3	96.9

11月は主に、さんま(4,863t、991,311千円)、さば(611t、50,145千円)、しよっこ(249t、36,844千円)、まいわし(321t、11,818千円)、さけ(235t、250,744千円)などが水揚げされています。

・ さっちゃんNEWS part2

11月21日(火)蛸ノ浦漁港において、赤崎海づくり少年団(当日は大船渡市立赤崎小学校5年生21名)が、新巻サケづくりの体験学習を行いました。県大船渡水産振興センターの普及指導員や大船渡市漁協職員の説明を受けながら、塩漬けされたサケの水洗いに始まり、最終的には吊るして乾燥させる状態にまで仕上げました。イキイキと楽しそうに作業をしている姿は頼もしいかぎりです。



①普及指導員の説明をしっかりと聞いています。



②たわしを使って、腹の中からエラの奥まで入っている塩を取り除く作業。表面も良く洗っています。



③割り箸を2本刺して腹を開いた状態にします。



④出来上がった新巻サケは赤崎小学校の一角に吊るされ乾燥されています。

『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター
〔担当 佐藤〕
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229